学校番号	２１２

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)数学発展演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	新課程 教科書傍用 クリアー数学C[複素数平面，式と曲線](数研出版) 新課程 チャート式 基礎からの数学Ⅲ+C[複素数平面 式と曲線](数研出版) 新課程　大学入学共通テスト実践問題集　2027　数学Ⅱ・B・C演習　プレノート Half 改訂版　短期完成　統計的な推測ノート（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

前半期は数学Ⅲ、数学C（複素数平面・式と曲線）の問題演習を行います。後半期は数学Ⅱ・B・Cの問題を中心に演習します。公式や定理を理解している前提で授業は進みますので、理解が不十分な分野は予習・復習を心掛けてください。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次の通り育成することをめざす。

(1) 数学Ⅲ・数学Cで身に付けた知識と技能を用いて、数学的により高度な表現・処理ができる技能を身に付けるようにする。

(2) 数学的な事象を論理的・発展的に考察する力や、これまで身に付けた数学的な表現を用いて、事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

(3) 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深め、改善しようとする態度や創造性を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	既習の内容で学んだ公式や定理、性質等を正しく理解し、適切な場面で活用することができる力を身に付けようとしている。	事象に対して数学的なアプローチを試み、それを表現することができる。 また、解答に至るまでの過程を丁寧に説明または記述することができる力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	数学C・数学Ⅲ	・複素数平面 ・関数 ・極限 ・微分法 ・微分法の応用 ・積分法とその応用	a:左記の単元における基礎的な問題に対して、諸公式や定理・性質を理解し、適切な場面で活用することができる。 b:左記の単元における基礎的な問題に対して、数学的なアプローチを試み、また解答に至るまでの過程を論述することができる。 c: 左記の単元における基礎的な問題に対して、解答に至るまでの過程を振り返り考察し、改善することができる。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査	提出課題
２学期	数学Ⅲ・数学B	・関数 ・極限 ・微分法 ・微分法の応用 ・積分法とその応用 ・統計的な推測	a:左記の単元における基礎的な問題に対して、諸公式や定理・性質を理解し、適切な場面で活用することができる。 b:左記の単元における基礎的な問題に対して、数学的なアプローチを試み、また解答に至るまでの過程を論述することができる。 c: 左記の単元における基礎的な問題に対して、解答に至るまでの過程を振り返り考察し、改善することができる。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査	提出課題
３学期	総合演習	数学ⅡBC 総合演習	a:各単元の諸公式や定理・性質を理解し、適切な場面で活用することができる。 b:問題の意図を正しく理解し、既習内容を活用してその解決を行うことができる。 c:問題に関わる事象を多面的に考え、その意図を考察しようとする。	提出課題	提出課題	提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度